

放射性廃棄物処理場の竜巻の選定に係る確認事項回答

原子力科学研究所の放射性廃棄物処理場では、竜巻対策として、竜巻（F1 スケール（藤田スケール））を選定しているが、竜巻の選定基準を示すこと。

<回答>

放射性廃棄物処理場では、「試験研究用等原子炉施設への新規制基準の審査を踏まえたグレーデッドアプローチ対応について（平成28年6月15日原子力規制委員会資料）」の考え方に基づき、安全上重要な施設の有無を判断するため、竜巻（F3 スケール（藤田スケール）、最大風速 92m/s を保守的に 100m/s と設定）に起因して、放射性廃棄物処理場から放出した放射性物質による一般公衆への影響について評価を行い、一般公衆に対する実効線量が5mSvを超えないことから、安全上重要な施設がないと判断し、放射性廃棄物処理場の竜巻対策において考慮すべき竜巻は、原子力科学研究所の敷地及びその周辺（敷地から20km以内）で過去に発生した最大の竜巻（F1 スケール（藤田スケール）、最大風速 49m/s）としている

※1。

※1：「核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合（第158回） 資料3-5」及び「核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合（第167回） 資料3-1」参照。